

<b>A6971</b>	<b>トキ21000 ステンレスコイル輸送用 3両セット</b>	<b>予価:8,470円(本体価格7,700円)</b>
		JANコード:127186 カートン内入数:24

<b>A6975</b>	<b>トキ23600 亜鉛泥鉦輸送用 3両セット</b>	<b>予価:8,470円(本体価格7,700円)</b>
		JANコード:127223 カートン内入数:24

**商品形態** Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 紙ケース入り)

**実車** 昭和30年代末ごろから、様々な物資に対応した専用貨車、通称「物適貨車」が多数登場しました。汎用の大型無蓋車トキ15000型は後継車の登場により余剰が生じており、これを活用した様々な物適貨車が作られています。その内の二種がトキ21000及びトキ23600です。  
トキ21000はインゴットやステンレス板をロール状に丸めたコイルを運搬するための物適貨車として1967年に24両が改造されました。元のあおり戸を活用したため外観はほとんど変化していませんが、荷台にコイルを積載するための受台が5基設置されました。当初は和歌山を基点に運用されましたが、後に北鹿島駅常備となり黒井まで運用されました。1983年に形式消滅しました。  
トキ23600は亜鉛泥鉦を運搬するための物適貨車として1971年に28両が改造されました。亜鉛泥鉦は水分を多く含んだ比重の高い物資であるため、積載量を制限するためあおり戸を低くし、内側に鋼板を貼ってプール状にした上で水抜き用の管が下部に設置されました。花岡鉦山から秋田北港までの運用に用いられましたが1984年に形式消滅しました。

**商品概要**  
・マイクロエース貨車シリーズの更なる充実  
・トキ15000から改造された様々な物資適合車から2種を製品化  
・ダイキャスト製シャーシを採用  
・ブレーキ類(エアタンク、シリンダー、テコ、足踏み装置などを別部品化により立体的に再現)

**内側の受台に特徴あり、国鉄の黒い貨車**




\*イラストはイメージです。

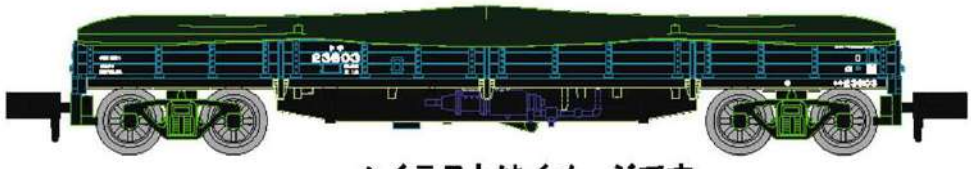
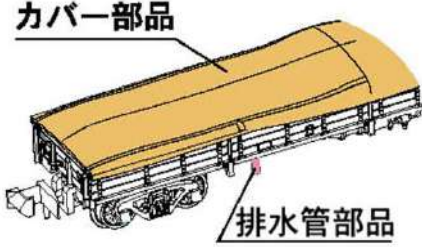
- あおり戸内側にコイル固定用の受台部品を取付
- 管理局表記は「千・北鹿島駅常備」。記された位置が異なる3両を同梱
- コイル部品は付属しません

※走行には別途機関車が必要です

編成図 A6971

トキ21018	トキ21023	トキ21000
---------	---------	---------

**背が低く平べったい黒色貨車**

\*イラストはイメージです。

- 高比重の積荷のため低くなったあおり戸を再現
- 積車時にかぶせられたカバー部品が付属
- 特徴である排水管部品を床下に取付
- 内部構造(実車は鋼板を貼付)は再現しません

※走行には別途機関車が必要です

編成図 A6975

トキ23603	トキ23608	トキ23601
---------	---------	---------

**オプション** なし

**付属品** なし